いわて未来研　会報・情報誌

NPO 法人いわて未来政策・政経研究会 会報・情報誌　第 51 号(2023. 2. 3)

ハロウ安比校ミック
校長と記念撮影

ご挨拶

会長　相原　正明

新年をいかが過ごされましたか。コロナ禍を乗り越え、新時代の扉を開きたいものです。

常日頃のご高配・ご協力に感謝申し上げます。

お陰様で当会の活動も 13 年度目に入り、これまでの実績やノウハウ、更には育てて参りました知名度を生かし、一層の地域貢献、国・自治体政策の進展に寄与して参りたいと思います。

令和 5 年度の事業構想につきましては、理事会で協議した結果を 14 ページに掲載しております。

誠に申し訳ありませんが、会員の減少による会費収入の漸減と事務局の高齢化のため、一部事業の縮減やむなしとしたところです。これに伴い、常勤理事(会長)の報酬を減額といたしました。

前述しましたように、会報・情報誌の一層の充実始め、蓄えられた力を発揮し、未来を切り拓くまちづくりのため、更に邁進して参ります。

なお、会活動の基礎となる財源確保のため、会費の納入をお願いする時期となりました。引き続きのご支援・ご協力をお願いいたします。

祝50号達成

祝50号達成

〒023-1131 岩手県奥州市江刺愛宕字橋本 119 番地
TEL 0197-35-2134　E-mail miraiken@pon.waiwai-net.ne.jp
FAX 0197-35-2134　URL http://iwate-miraiken.sakura.ne.jp

年 4 回
発　行

講演会開催される

令和 4 年 12 月 3 日(土)午後 2 時半から奥州市水沢のプラザイン水沢で、岩手県立大学特命教授黒岩幸子氏を講師に迎え、講演会が開催されました。

演題は、「ウクライナ侵攻が続くなかで考える日ロ関係」で、詳しいレジメを持参され、日本人

が心を痛めているロシア・ウクライナ戦争について、日ロに共通する問題点にも触れながら、広い視野のもと深いお話をいただきました。21 名が参加し、熱心に聴き入り、いくつかの質問も出されたところです。

NPO 法人いわて未来政策・政経研究会 会報・情報誌　第 51 号(2023. 2. 3)

お知らせ

お願いなど

会の発展のため、加入促進方を宜しくお願いいたします。

R5. 2. 3 現在会員数

個人正会員(年会費 2 千円)　156 名
個人賛助会員(年会費 1 千円)　62 名
団体正会員(年会費 2 万円)22 法人・事務所
団体賛助会員(年会費 1 万円)2 法人
合計　242 名・法人

ご寄附御礼

前回会報(第 50 号)で報告した以降の状況。金額 13 千円(R4 年度寄附の累計 25 千円)

―寄附者ご芳名―

佐藤　信治　様 (10)
千田　敏彦　様 (2)
佐藤　千幸　様 (1)

( )内は金額(千円)

ハロウ安比校でミック校長を囲んで。向かって右から２人目ミック氏、4 人目同校安立部長、１人目は当会渡辺清文理事。

R5 年度分の会費を同封のゆうちょ銀行の振込用紙(赤色)により 3 月末日までにお振込み頂きますようお願いいたします。会の財政は、基本的に皆様からの会費で賄っております。会が今後益々地域貢献できますよう、皆様のご支援を何卒よろしくお願い申し上げます。

振込み手数料は当会が負担いたします。ただし、令和 4 年 1 月から払い込みの際に、利用料金加算新制度により、払込人は加算料金 110 円を負担しなければなりません。ご理解ご協力をお願いいたします。なお、ゆうちょ通帳またはキャッシュカードを利用した口座からの払い込みであれば加算料金は無しとなります。

編　集　後　記

本号で触れられております「戦争」について、二つの話を紹介します。

一つは、昨年(2022)7 月に 97 歳で逝去された京都鞍馬寺の信樂香仁(しがらきこうにん)貫主です。私が市長時代に奥州大使になっていただいた方でもあります。「お釈迦様のみ教えと平和憲法を両輪として平和への道を進みましょう」といった詩を常に掲示し、信徒に伝え続けられたとのことです。

もう一つは、アインシュタイン(理論物理学者、相対性理論提唱)の「人間を戦争というくびきから解き放つことはできるのか?」という手紙での質問に対し、フロイト(精神分析学の創始者)が手紙で答えた長文の締めの言葉です。「文化の発展を促せば、戦争の終焉へ向けて歩み出すことができる ！」

戦争のない世を築くため、人の心を正しく保ち、文化を発展させることが大切と感じました。(相原)